



きばっちょいもんさ - 鹿児島企業の顔・人・心 -

『健康・長寿を求めて』

くろず本舗坂元醸造(株)

代表取締役社長 坂元昭夫

’97年12月で、県工業技術センター創立10周年を迎え、日頃、何かとお世話頂いている者として心から喜んでおります。

さて、日本人の『平均寿命世界一』が昨年で10周年目を迎え、WHO（世界保健機構）から「日本食が最大原因では」と発表されました。

遺伝因子が同じでも、毎日大量の牛肉を食べる日系ブラジル人の平均寿命は17年も短く、日本食を食べ続けるハワイの日系人は80年代初期に現在の日本人と同一レベルでした。

近畿大学医学部有地滋教授は『長寿と日本食』に早くから気附いておられましたが、江戸時代から続く私共の福山工場の『天然つぼ酢（坂元のくろず）』を知られ、わざわざ鹿児島に足を運ばれました。

その夜、先生は「現在、日本の平均寿命は毎年伸びているが、これは戦前から日本食を食べている中高年の人々のお陰で、米国式食事に馴れた世代が主流になる将来は、逆に平均寿命が短くなる事を心配している。今で、すぐれた日本食の素材を確保し、後世に伝える事が私の責務と考えており、貴社の『くろず』は最高の素材と感じて鹿児島に来ました。将来の日本人の為に生産量をふやして、大いに普及して下さい。」と言われました。

私は九州大学卒の薬剤師で薬局チェーンを経営していますが、同時に世界でも珍しい『天然つぼ酢くろず』を製造している会社の5代目になりますので、有地教授のお言葉をきっかけに、200年来の家業に本気で取り組む気を起こし、法人化し頑張り始めて30年が経過しました。

その後、九州大学藤野助教授が、「第1内科の患者さん20名に『1日20mlのくろず』を投与した結果、2ヶ月で総コレステロール・中性脂肪・血糖値が有意に低下し、さらに赤血球がやわらか

くなり血液の流れがさらさらになった。成人病に有効と考えられる。」との臨床報告をされました。

また、愛媛大学や農水省食品総合研究所をはじめ、多くの研究機関ですぐれた研究発表があり、更にNHKでは独自に実験、データの正確な事を確認して、番組『ためしてガッテン』で全国放映され大きな反響を呼びました。

第2次世界大戦後、一時期は風前の灯となっていた『天然つぼ酢くろず』が、多くの方々の善意と無私のお力添えで、息を吹き返し、何とか無事に復興する事が出来ました。その御恩にむくい、さらに『人類の健康と長寿』に役立つ為に、今後必死で頑張りたいと考えております。

プロフィール

生年月日：昭和5年2月24日

出身地：福山町

血液型：O型

モットー：修身齐家治国平天下

趣味：散歩・旅行・クラシック鑑賞

